

自主臨床研究

栄養発育研究グループ

一卵性双生児の網羅的ゲノム解析による胆道閉鎖症の遺伝的素因の解明

実施期間	～2022年3月
研究機関	大阪大学医学部附属病院 および以下の共同研究機関：大阪母子医療センター、千葉県立こども病院
研究目的	本研究では、本来同一の遺伝子を有するはずの一卵性双生児において、疾患発症児と健常児のゲノムを網羅的に比較することにより、胆道閉鎖症の成因における遺伝的素因の有無を明らかにすることを目的とする。
対象	少なくとも片方が胆道閉鎖症と診断された患者を含む一卵性双生児
プライバシーの保護	本研究は大阪大学医学部附属病院小児科において患者さんを研究対象とします。プライバシー確保のため、患者さんが特定できないようにデータを処理した上で研究解析を行います。また、研究結果を公表する際には、患者さん個人が特定されることはありません。

お問い合わせ先

大阪大学大学院医学系研究科

小児科学 別所一彦（准教授）

e-mail: bessho※ped.med.osaka-u.ac.jp